
松山市 文化芸術に関する
市民アンケート調査

結果報告書

概 要 版

令和4年9月

松山市

目 次

I	調査概要	1
I-1	調査目的	1
I-2	調査概要	1
I-3	報告書の見方	1
I-4	配付・回収結果	2
II	アンケート調査結果	3
II-1	あなたご自身に関するご質問	3
	あなたのことについて	3
II-2	文化芸術に関するご質問	4
	文化芸術について	4

I 調査概要

I-1 調査目的

「第二期松山市文化芸術振興計画」の策定に向け、これまでの取組の満足度調査や既存計画の検証、市民の現状認識や要望等を把握するため、市民に対する意識調査を実施し、計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

I-2 調査概要

- ◆ 調査対象者：18歳以上の松山市在住の市民2,500人
- ◆ 調査期間：令和4年5月16日（月）～令和4年6月6日（月）
- ◆ 調査方法：郵送アンケートによる配付・回収及びインターネット回答

I-3 報告書の見方

- ◆ 図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものであり、各設問は「不明・無回答」を含めて集計している。
- ◆ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があり、このことは、本報告書内の分析文、グラフ、コメント、表に反映している。
- ◆ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ◆ 図表中の「N」（Number of samplesの略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。
- ◆ 本文中の設問の選択肢について、長い文は省略している場合がある。

I-4 配付・回収結果

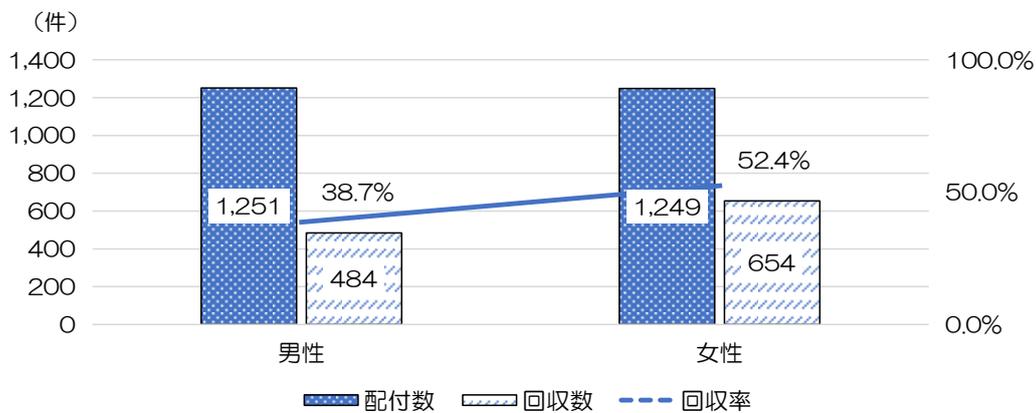
調査票の配付と回収については、以下のとおりとなっている。

◆配付・回収結果（一覧）

調査対象者数 (配付数)		有効回収数	有効回収率
全対象者	2,500	1,168	46.7%
【性別回収状況】※不明・無回答を除く			
男性	1,251	484	38.7%
女性	1,249	654	52.4%
無回答		30	
【年齢別回収状況】※不明・無回答を除く			
18～19歳	55	20	36.4%
20歳代	352	103	29.3%
30歳代	419	163	38.9%
40歳代	428	208	48.6%
50歳代	414	198	47.8%
60歳代	423	248	58.6%
70歳以上	409	225	55.0%

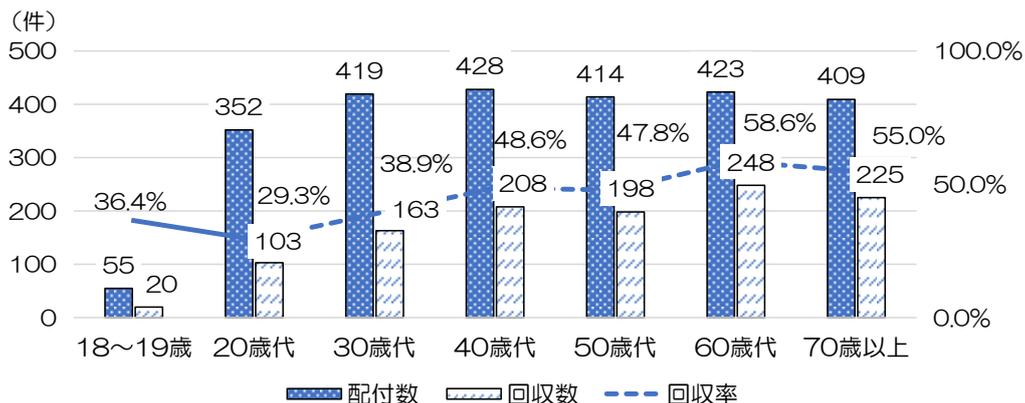
◆配付・回収結果(性別グラフ)

性別の回収率について、「男性」は38.7%（484件）、「女性」は52.4%（654件）となっている。



◆配付・回収結果（年齢別グラフ）

年齢別の回収率について、年齢が上がるにつれて回収率は高く、60歳以上では5割半ばを超えている。



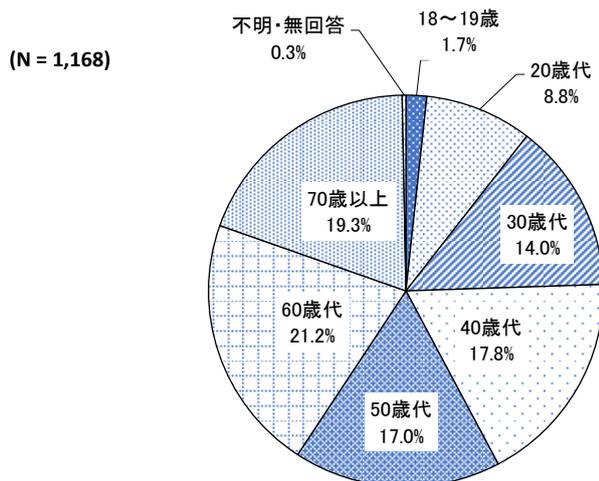
Ⅱ アンケート調査結果

Ⅱ-1 あなたご自身に関するご質問

あなたのことについて

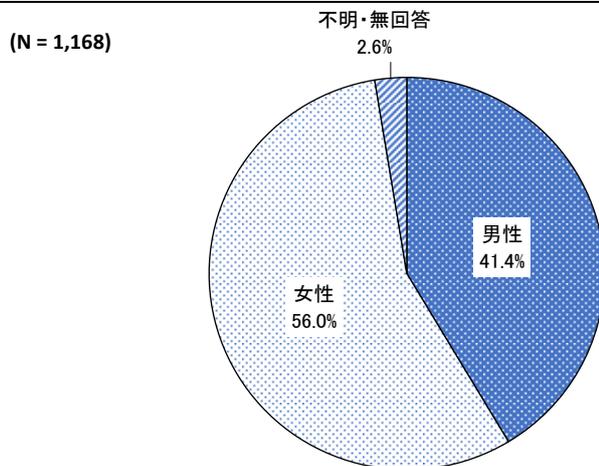
(1) 年齢（令和4年5月1日現在）＜単一回答＞ [問1]

年齢についてみると、「60歳代」が21.2%と最も高く、次いで「70歳以上」が19.3%、「40歳代」が17.8%となっている。



(2) 性別＜単一回答＞ [問2]

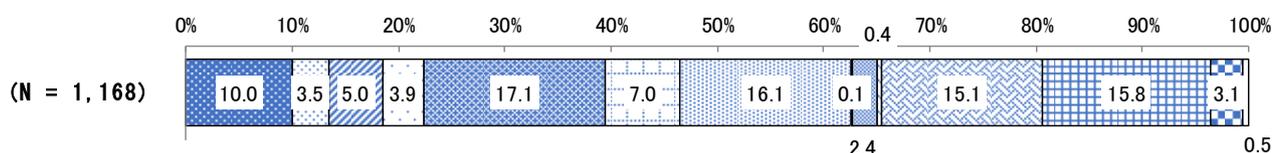
性別についてみると、「男性」が41.4%、「女性」が56.0%となっている。



(3) 職業＜単一回答＞ [問3]

職業についてみると、「会社員・公務員（その他）」が17.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が16.1%、「家事専業」が15.8%となっている。

- 会社員・公務員（専門職）
- 会社員・公務員（教育関係）
- 会社員・公務員（医療関係）
- 会社員・公務員（福祉関係）
- 会社員・公務員（その他）
- 自営業
- パート・アルバイト
- 学生（高校生）
- 学生（大学生）
- 学生（専門学校生）
- 無職
- 家事専業
- その他
- 不明・無回答

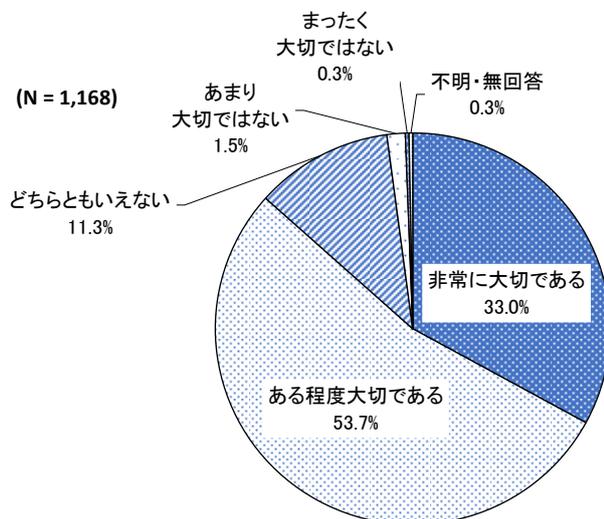


Ⅱ-2 文化芸術に関するご質問

文化芸術について

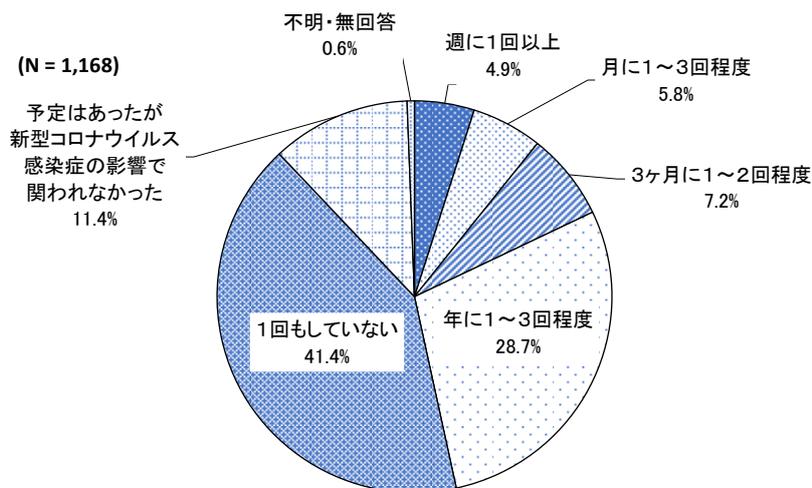
(1) 文化芸術を体験することや、文化芸術活動をするについて〈単一回答〉 [問4]

文化芸術の活動状況についてみると、「ある程度大切である」が53.7%と最も高く、次いで「非常に大切である」が33.0%、「どちらともいえない」が11.3%となっている。



(2) 過去1年間に鑑賞や創造活動（表現活動）、仕事などでどの程度文化芸術に関わったか 〈単一回答〉 [問5]

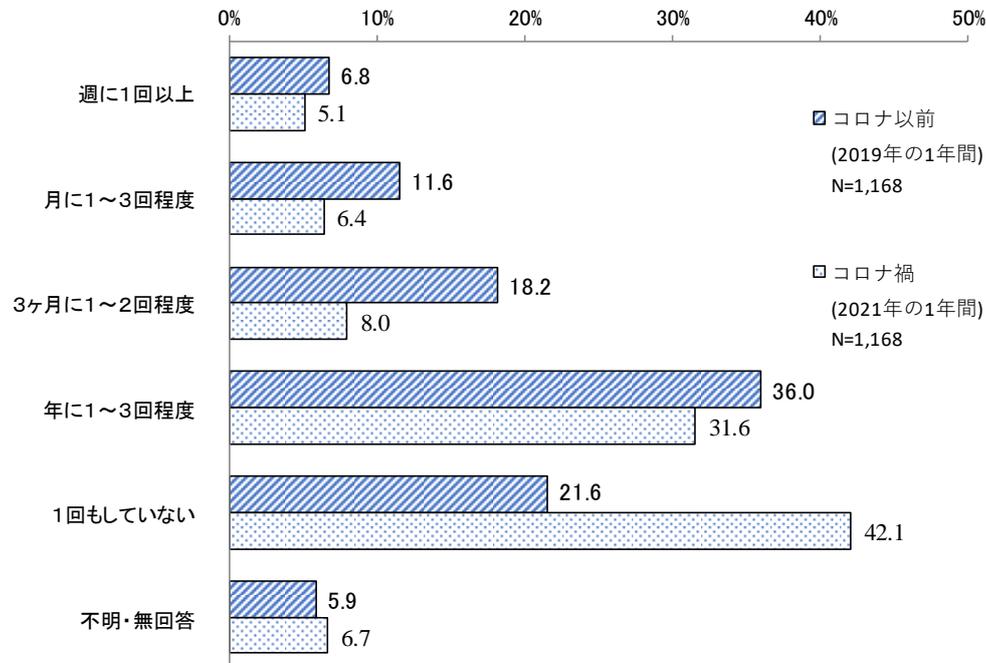
1年間にどの程度文化芸術に関わったかについてみると、「1回もしていない」が41.4%と最も高く、次いで「年に1～3回程度」が28.7%、「予定はあったが新型コロナウイルス感染症の影響で関われなかった」が11.4%となっている。



(3) 1年間に、どの程度文化芸術の鑑賞等をしたか<単一回答> [問6-1、問6-2]

1年間の文化芸術の鑑賞状況についてみると、2019年の1年間では、「年に1～3回程度」が36.0%と最も高く、次いで「1回もしていない」が21.6%となっている。また、2021年の1年間では、「1回もしていない」が42.1%と最も高く、次いで「年に1～3回程度」が31.6%となっている。

2019年と2021年を比較すると、2019年の方が鑑賞機会の頻度が高いことがわかる。そして、「1回もしていない」は2021年が2倍弱高いことから、コロナ禍により、鑑賞機会が減少していることがうかがえる。

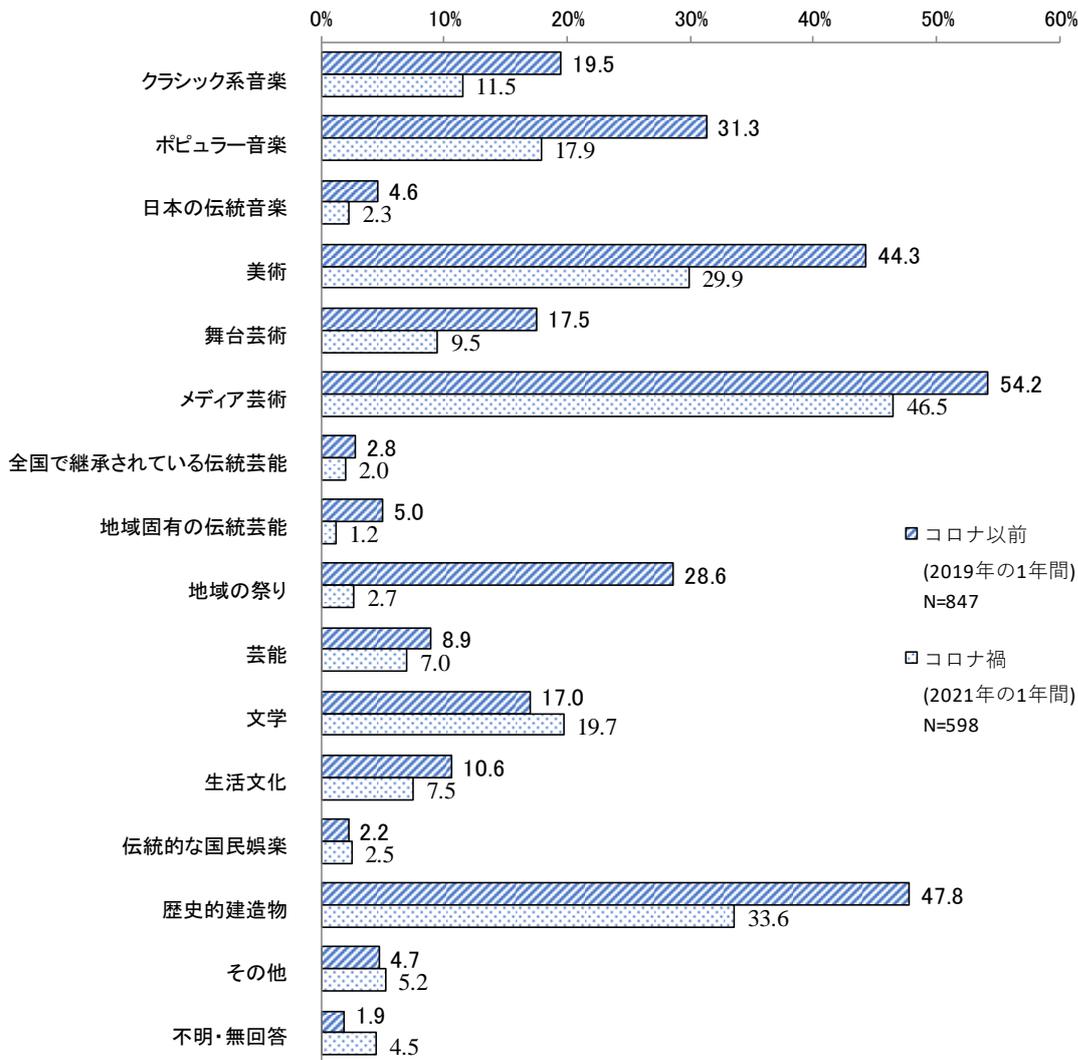


(4) 1年間に、鑑賞した文化芸術の分野<複数回答> [問7-1、問7-2]

問6-1、問6-2で、それぞれ「週に1回以上」、「月に1~3回程度」、「3か月に1~2回程度」、「年に1~3回程度」を選ばれた方

1年間に鑑賞した文化芸術の分野についてみると、2019年、2021年の1年間ともに、「メディア芸術」(54.2%、46.5%)が最も高く、次いで「歴史的建造物」(47.8%、33.6%)、「美術」(44.3%、29.9%)の順で高くなっている。一方、3項目の割合はいずれも2019年を上回っており、特に「美術」、「歴史的建造物」は14ポイント以上と大きな差がある。

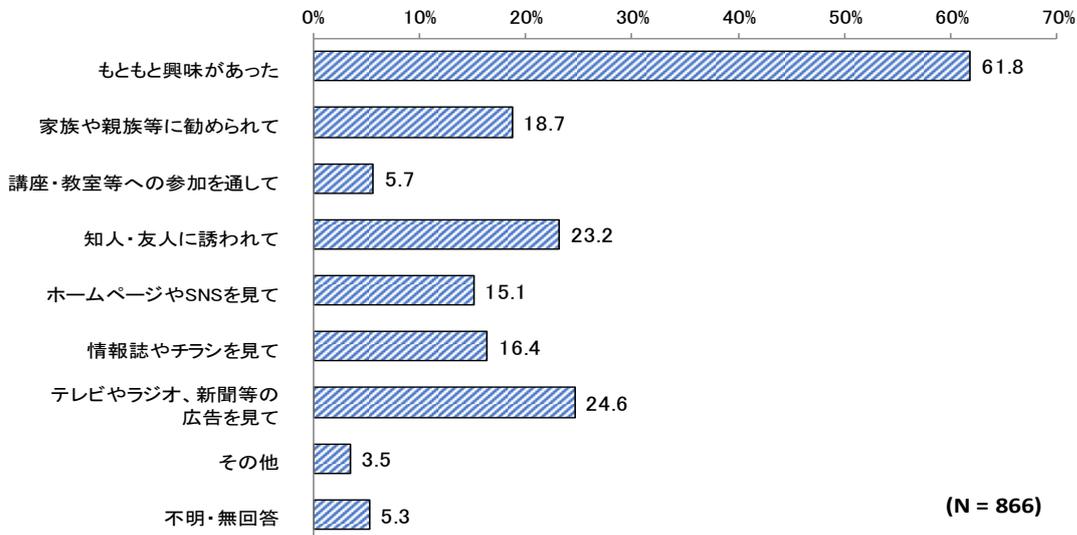
また、「地域の祭り」では2019年が約26ポイント上回っており、コロナ禍により「地域の祭り」が大幅に減少していることがうかがえる。



(5) 文化芸術を鑑賞したそのきっかけ<複数回答> [問8]

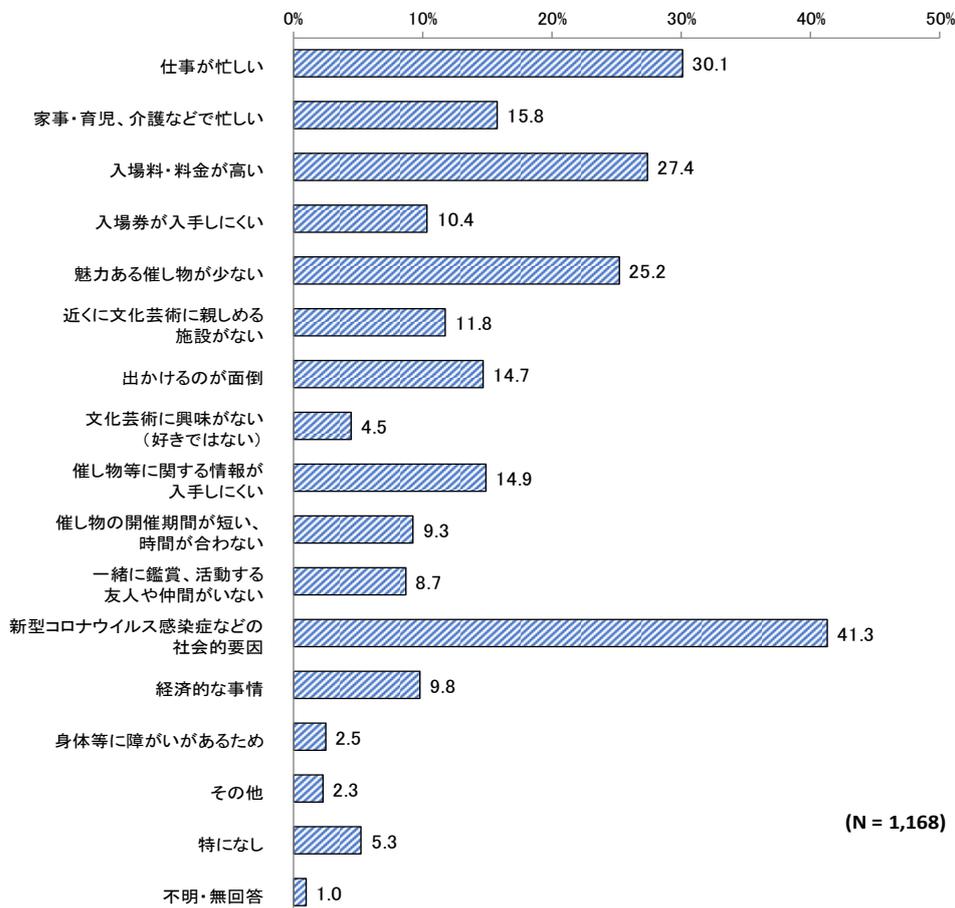
問6-1、問6-2で、「週に1回以上」、「月に1~3回程度」、「3か月に1~2回程度」、「年に1~3回程度」のいずれかを選ばれた方

文化芸術を鑑賞したきっかけについてみると、「もともと興味があった」が61.8%と最も高く、次いで「テレビやラジオ、新聞等の広告を見て」が24.6%、「知人・友人に誘われて」が23.2%となっている。



(6) 文化芸術の鑑賞等を行う上で、支障となっているもの<複数回答> [問9]

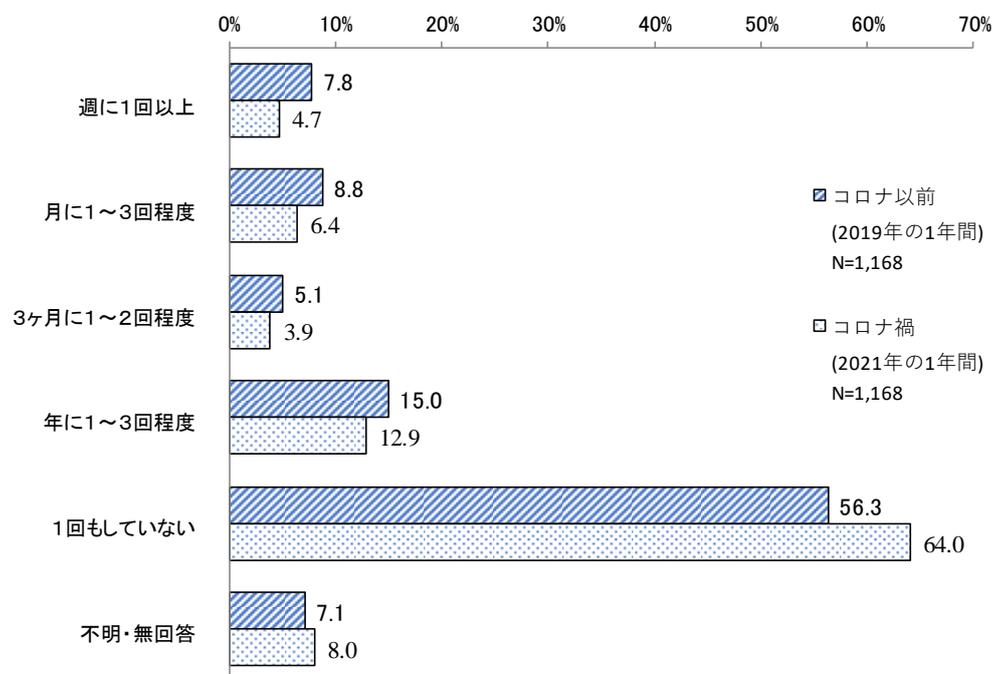
文化芸術の鑑賞等を行う上で、支障となっているものについてみると、「新型コロナウイルス感染症などの社会的要因」が41.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しい」が30.1%、「入場料・料金が高い」が27.4%となっている。



(7) 1年間に、文化芸術の創造活動（表現活動）をどの程度したか<単一回答> [問10-1、問10-2]

1年間の文化芸術の創造活動（表現活動）の状況についてみると、2019年、2021年の1年間ともに「1回もしていない」（56.3%、64.0%）が最も高く、次いで「年に1～3回」（15.0%、12.9%）となっている。

2019年と2021年を比較すると、2019年の方が創造活動（表現活動）の頻度が高いことがわかる。また、「1回もしていない」では2021年が7.7ポイント上回っており、コロナ禍により活動頻度が下がっていることがうかがえる。



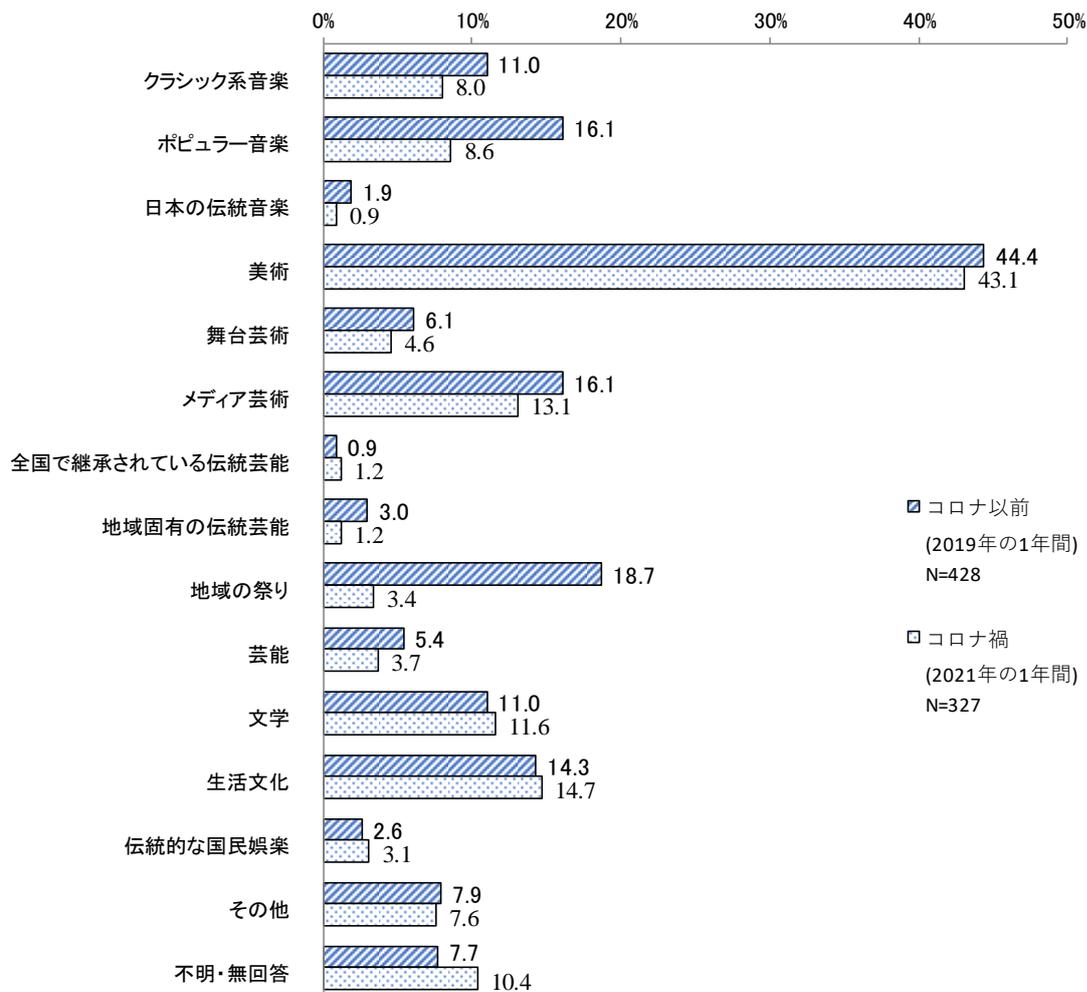
(8) 1年間に、創造活動（表現活動）をした文化芸術の分野＜複数回答＞ [問11-1、問11-2]

問10-1、問10-2で、それぞれ「週に1回以上」、「月に1~3回程度」、「3か月に1~2回程度」、「年に1~3回程度」を選ばれた方

1年間に創造活動（表現活動）をした文化芸術の分野についてみると、2019年、2021年の1年間ともに「美術」が最も高く、その割合は4割台である。

一方、2019年の1年間で2番目に高かった「地域の祭り」（18.7%）は、2021年では3.4%と15.3ポイント減少した。

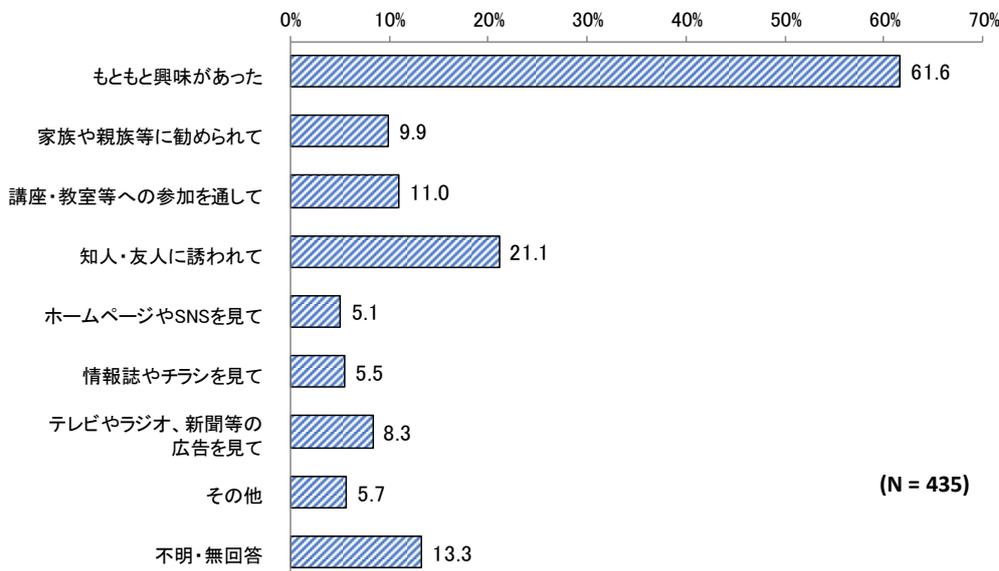
また、2021年の1年間では「生活文化」が14.7%と2番目に高いものの、2019年との差はわずか0.4ポイントであった。



(9) 文化芸術の創造活動（表現活動）をしたそのきっかけ＜複数回答＞ [問 12]

問 10-1、問 10-2 で、「週に 1 回以上」、「月に 1~3 回程度」、「3 か月に 1~2 回程度」、「年に 1~3 回程度」のいずれかを選ばれた方

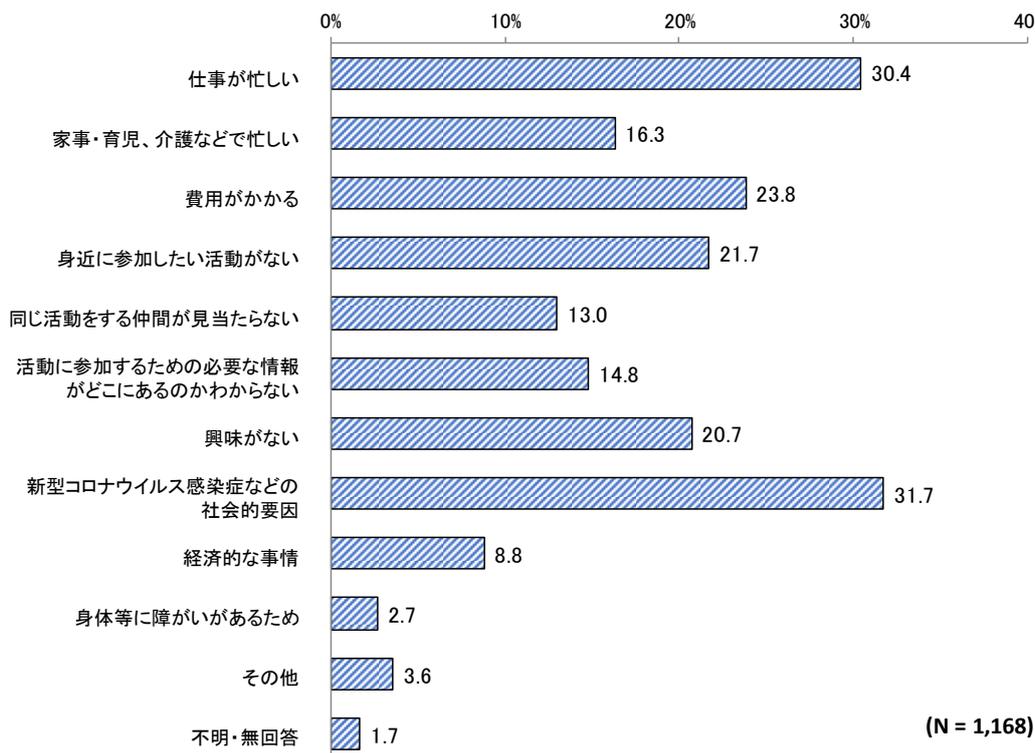
文化芸術の創造活動（表現活動）をしたきっかけについてみると、「不明・無回答」を除き、「もともと興味があつた」が 61.6%と最も高く、次いで「知人・友人に誘われて」が 21.1%、「講座・教室等への参加を通して」が 11.0%となっている。



(10) 文化芸術の創造活動（表現活動）を行う上で、支障となっているもの＜複数回答＞ [問 13]

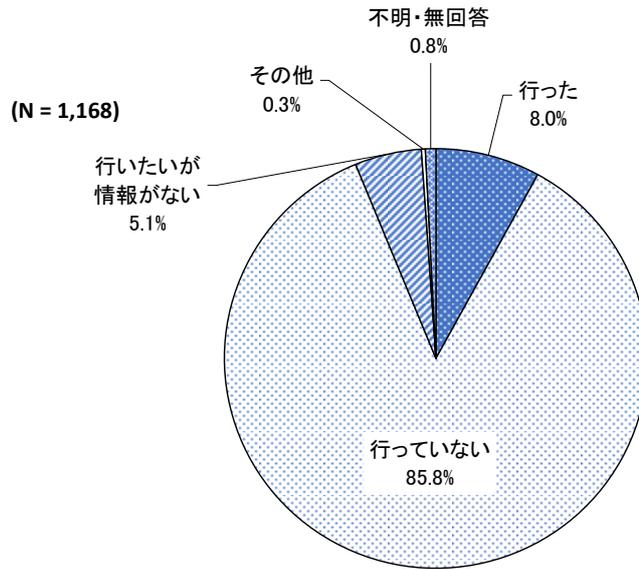
文化芸術の創造活動（表現活動）を行う上で、支障となっているものについてみると、「新型コロナウイルス感染症などの社会的要因」が 31.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しい」が 30.4%、「費用がかかる」が 23.8%となっている。

属性別にみると、20 歳代から 50 歳代と、就業者層では「仕事が忙しい」の割合が高くなっている。



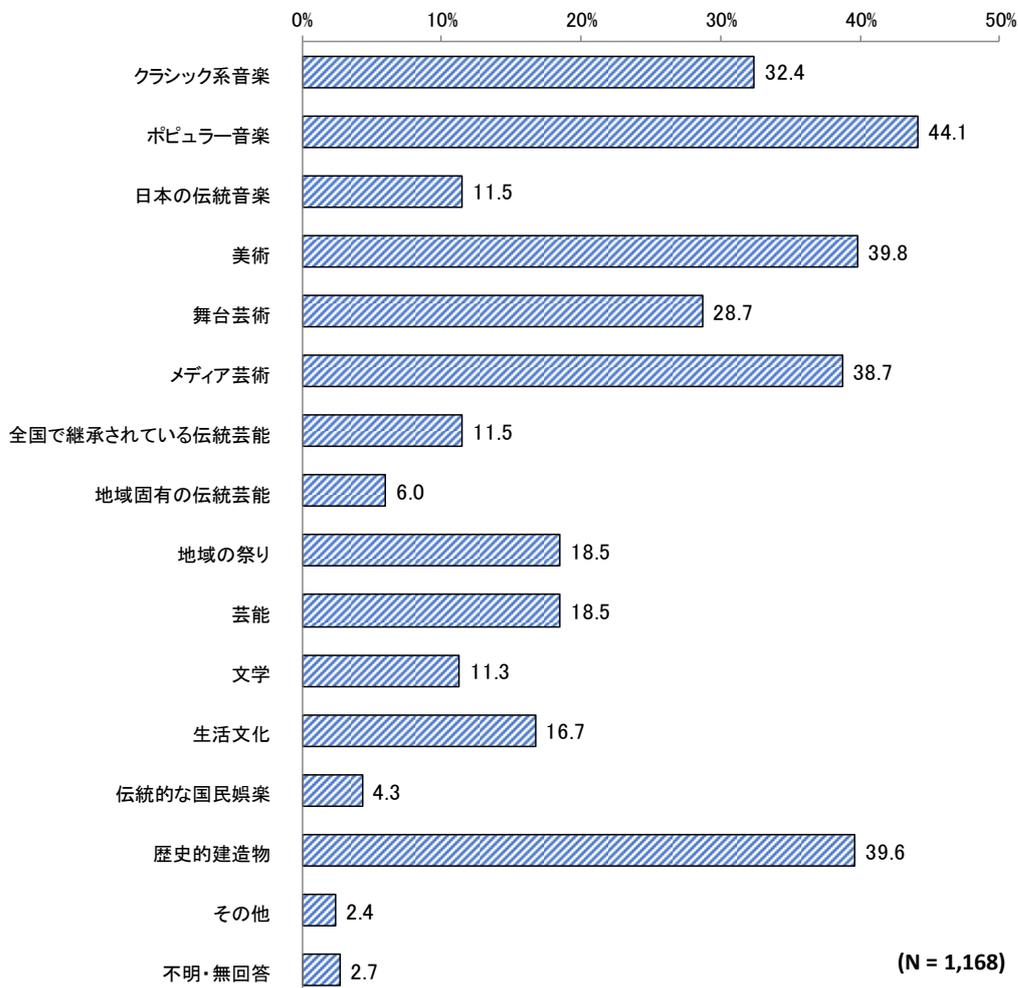
(11) 過去1年間に、文化芸術活動への支援を行ったか<単一回答> [問14]

過去1年間の文化芸術活動への支援状況についてみると、「行っていない」が85.8%と最も高く、次いで「行った」が8.0%、「行いたい情報が少ない」が5.1%となっている。



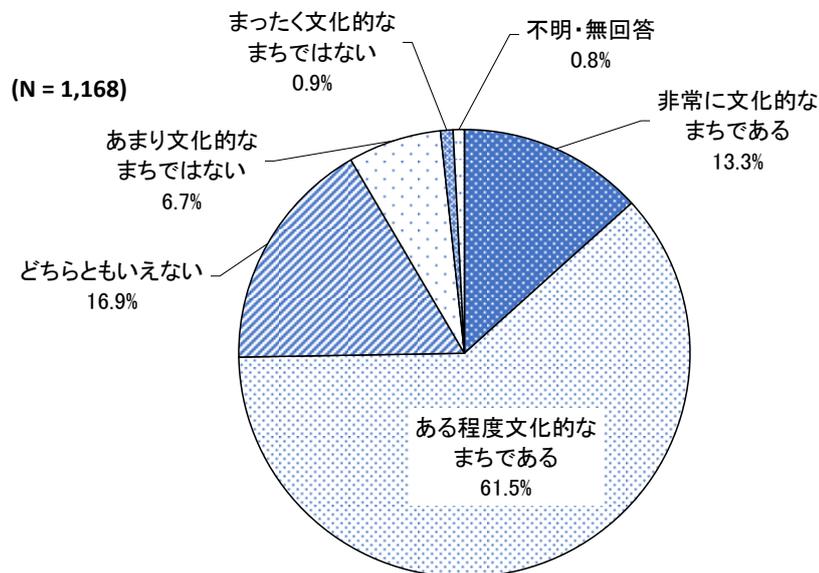
(12) 今後、鑑賞してみたい、または体験してみたい文化芸術活動<複数回答> [問15]

今後、鑑賞してみたい、または体験してみたい文化芸術活動についてみると、「ポピュラー音楽」が44.1%と最も高く、次いで「美術」、「歴史的建造物」がともに約4割となっている。



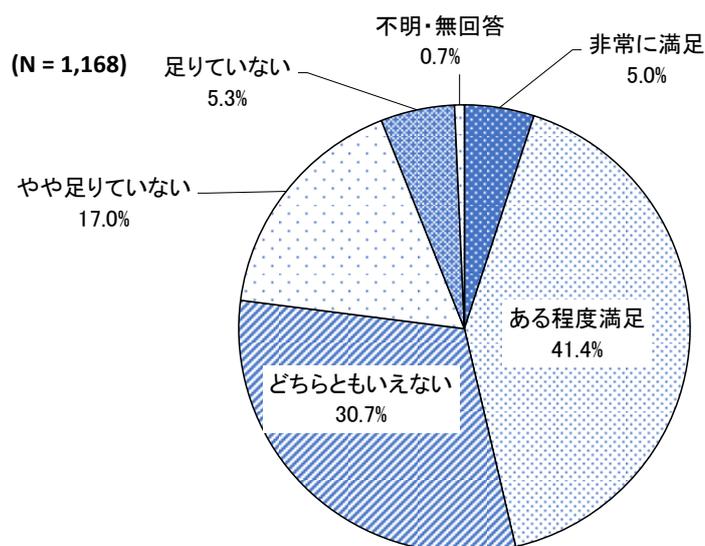
(13) 松山市は文化的なまちであると思うか<単一回答> [問16]

松山市は文化的なまちであると思うかについてみると、「ある程度文化的なまちである」が61.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が16.9%、「非常に文化的なまちである」が13.3%となっている。



(14) 松山市の文化施設の整備状況について<単一回答> [問17]

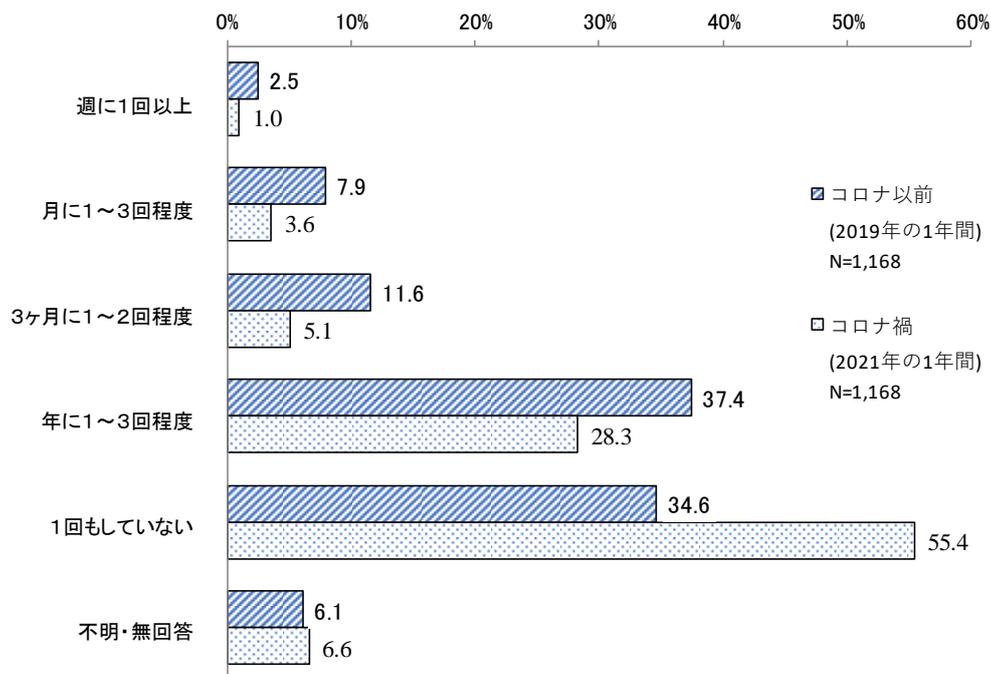
松山市の文化施設の整備状況についてみると、「ある程度満足」が41.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.7%、「やや足りていない」が17.0%となっている。



(15) 1年間に、どの程度文化施設を利用したか<単一回答> [問18-1、問18-2]

1年間の文化施設の利用状況についてみると、2019年の1年間では、「年に1～3回程度」が37.4%と最も高く、次いで「1回もしていない」が34.6%、「3ヶ月に1～2回程度」が11.6%となっている。また、2021年の1年間では、「1回もしていない」が55.4%と最も高く、次いで「年に1～3回程度」が28.3%となっている。

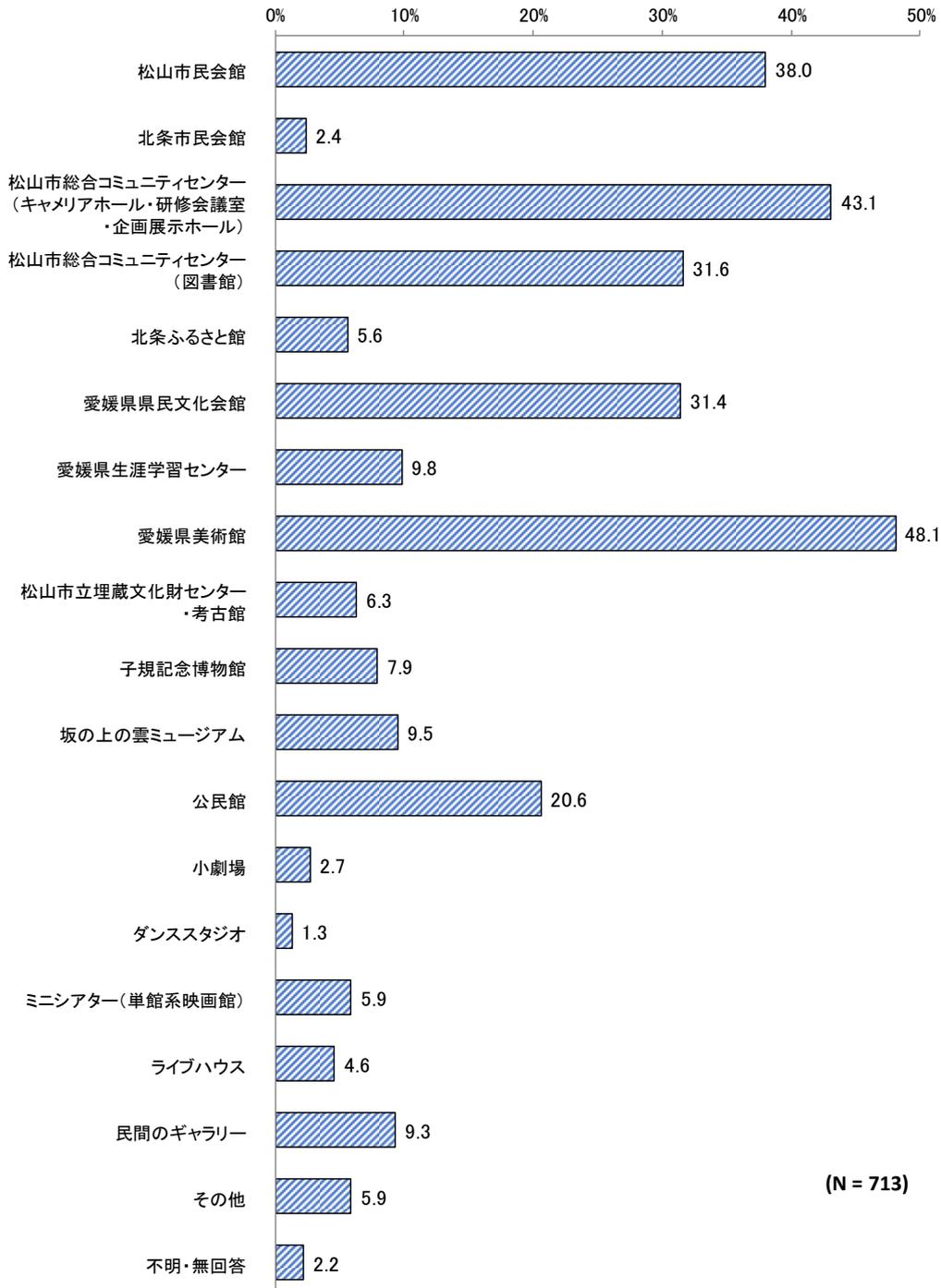
2019年と2021年を比較すると、2019年の1年間の方が文化施設の利用頻度が高いことがわかる。また、「1回もしていない」では2021年の方が20.8ポイント上回っていることから、コロナ禍において文化施設の利用頻度が低下していることがうかがえる。



(16) 利用した文化施設について〈複数回答〉 [問19]

問18-1、問18-2で、「週に1回以上」、「月に1~3回程度」、「3か月に1~2回程度」、「年に1~3回程度」のいずれかを選ばれた方

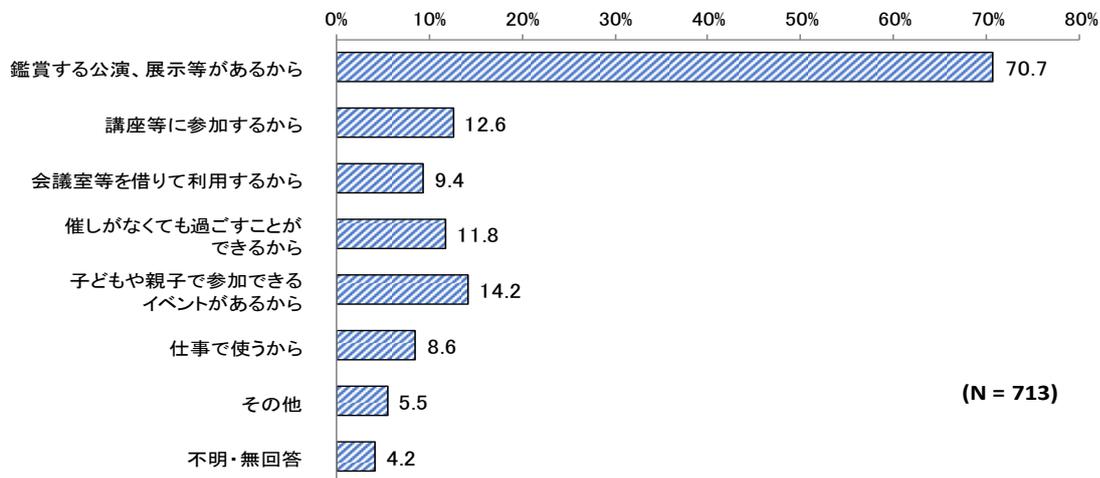
利用した文化施設についてみると、「愛媛県美術館」が48.1%と最も高く、次いで「松山市総合コミュニティセンター（カメラリアホール・研修会議室・企画展示ホール）」が43.1%、「松山市民会館」が38.0%となっている。



(17) 文化施設を利用する理由<複数回答> [問20]

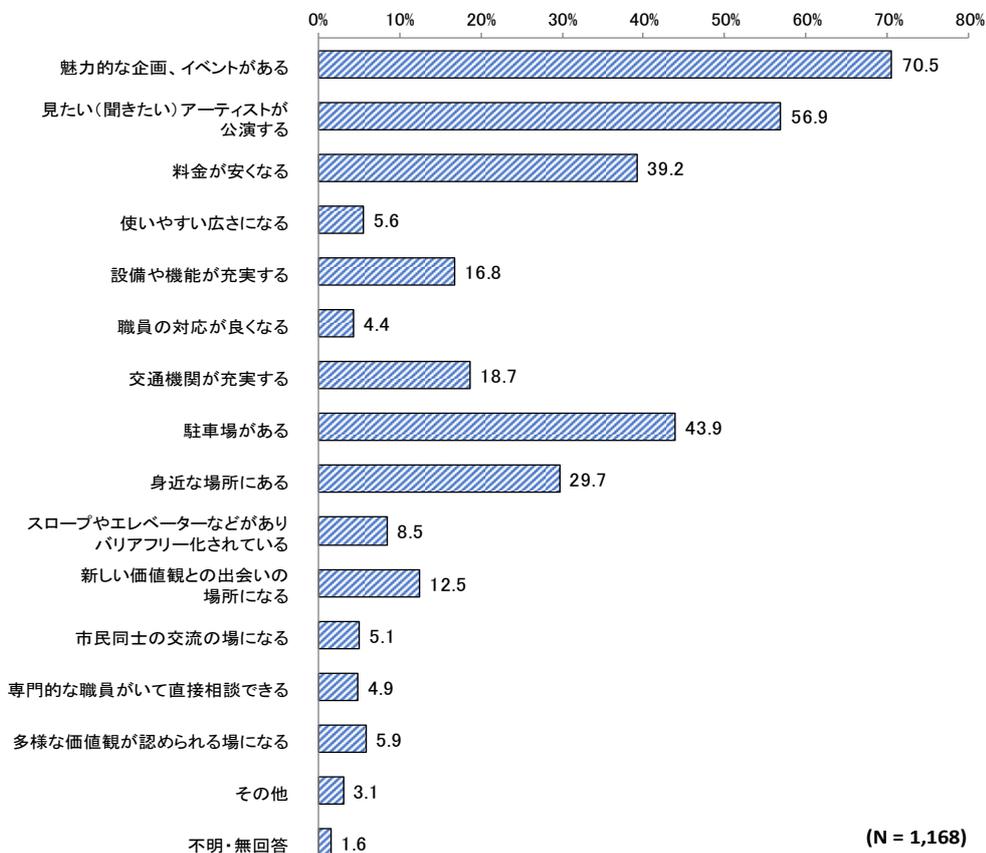
問18-1、問18-2で、「週に1回以上」、「月に1~3回程度」、「3か月に1~2回程度」、「年に1~3回程度」のいずれかを選ばれた方

文化施設を利用する理由についてみると、「鑑賞する公演、展示等があるから」が70.7%と最も高く、次いで「子どもや親子で参加できるイベントがあるから」が14.2%、「講座等に参加するから」が12.6%となっている。



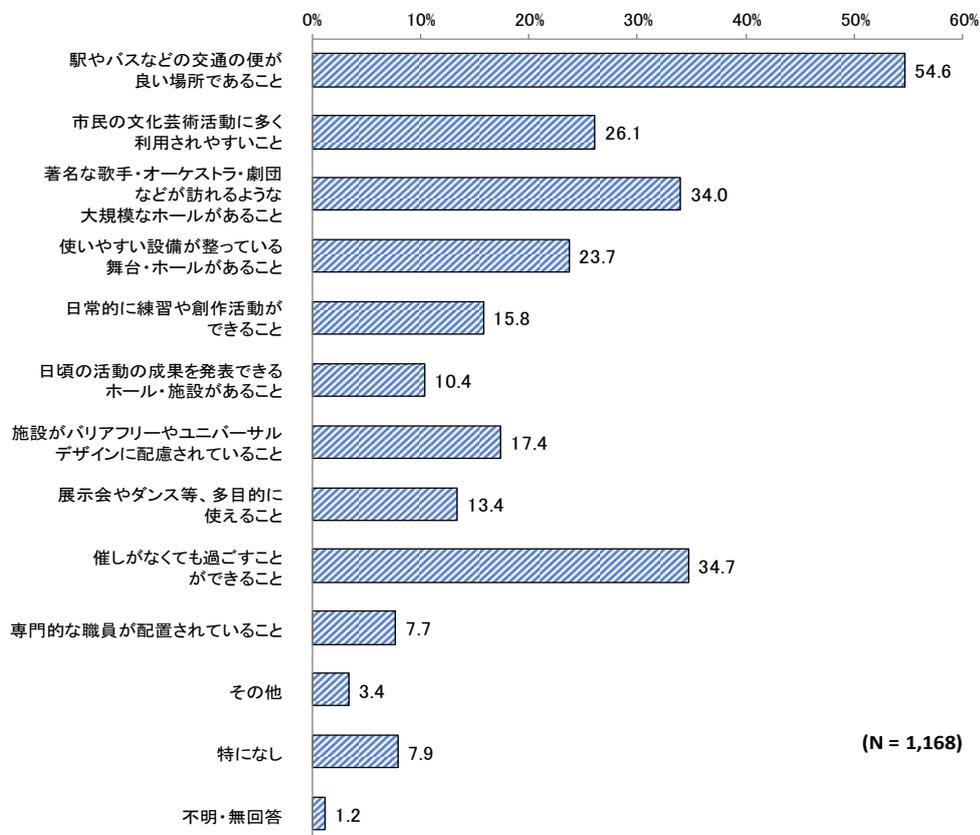
(18) 今より多く文化施設を利用するための条件<複数回答> [問21]

今より多く文化施設を利用するための条件についてみると、「魅力的な企画、イベントがある」が70.5%と最も高く、次いで「見たい(聞きたい)アーティストが公演する」が56.9%、「駐車場がある」が43.9%となっている。



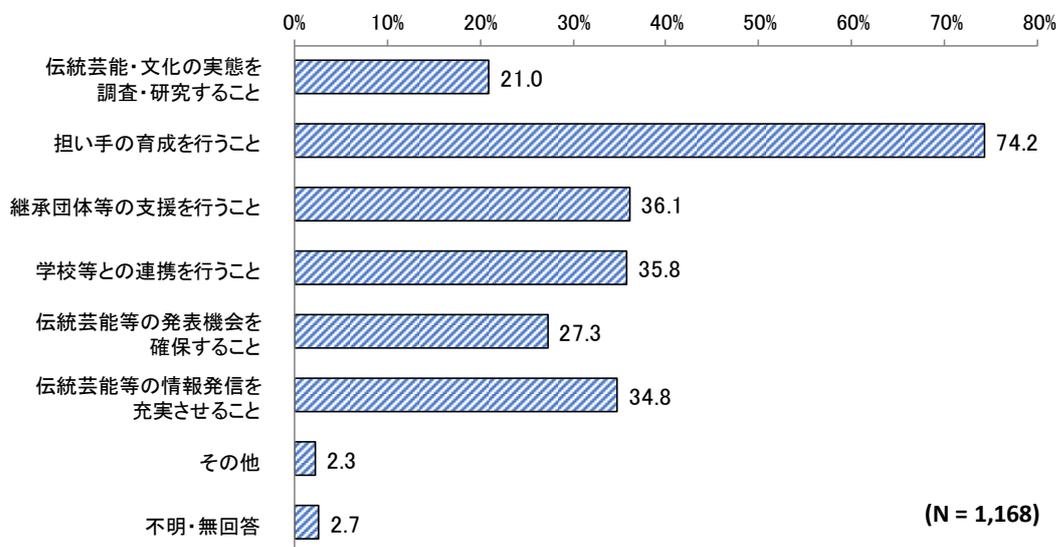
(19) 本市の文化施設に、望むこと、期待すること<複数回答> [問 22]

本市の文化施設に、望むこと、期待することについてみると、「駅やバスなどの交通の便が良い場所であること」が54.6%と最も高く、次いで「催しがなくても過ごすことができること」が34.7%、「著名な歌手・オーケストラ・劇団などが訪れるような大規模なホールがあること」が34.0%となっている。



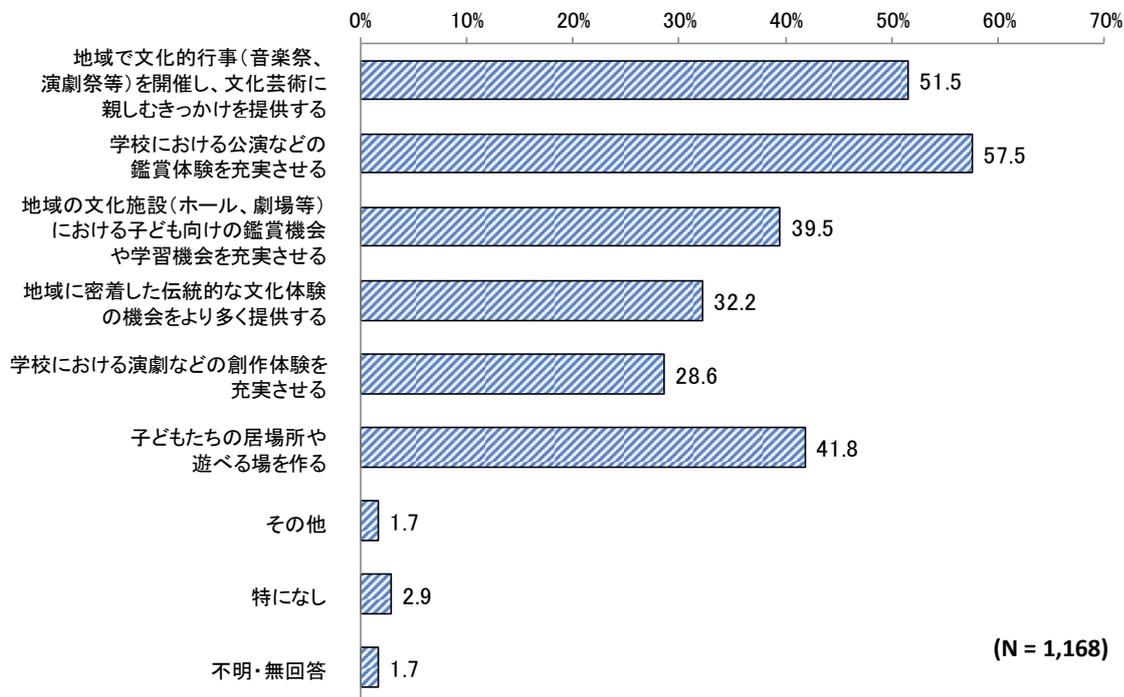
(20) 伝統芸能・文化を継承するために必要なこと<複数回答> [問 23]

伝統芸能・文化を継承するために必要なことについてみると、「担い手の育成を行うこと」が74.2%と最も高く、次いで「継承団体等の支援を行うこと」が36.1%、「学校等との連携を行うこと」が35.8%となっている。



(21) 子どもの文化芸術体験の充実に必要なこと<複数回答> [問 24]

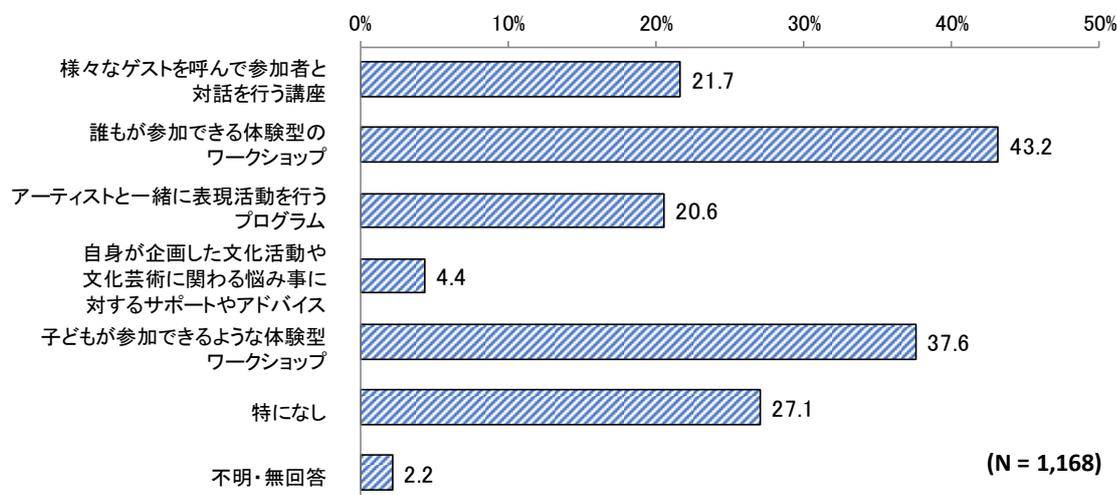
子どもの文化芸術体験の充実に必要なことについてみると、「学校における公演などの鑑賞体験を充実させる」が57.5%と最も高く、次いで「地域で文化的行事（音楽祭、演劇祭等）を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する」が51.5%、「子どもたちの居場所や遊べる場を作る」が41.8%となっている。



(22) 今後参加してみたい松山ブンカ・ラボのプログラム<複数回答> [問 25]

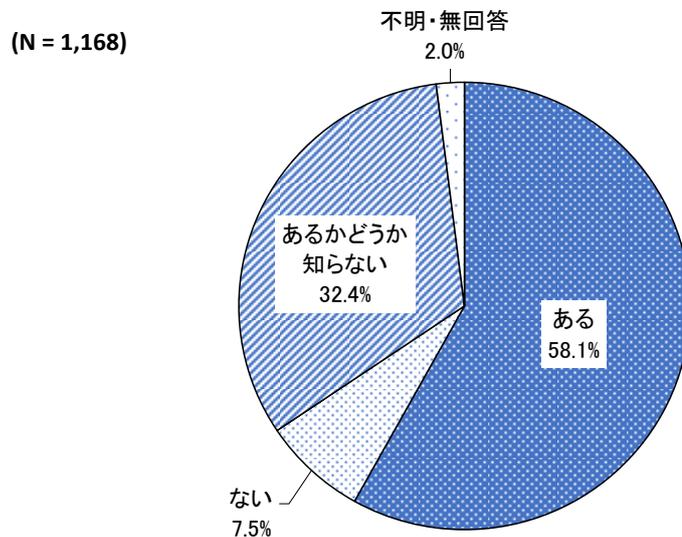
今後参加してみたい松山ブンカ・ラボのプログラムについてみると、「特になし」を除き、「誰もが参加できる体験型のワークショップ」が43.2%と最も高く、次いで「子どもが参加できるような体験型ワークショップ」が37.6%、「様々なゲストを呼んで参加者と対話を行う講座」が21.7%となっている。

属性別にみると、多くの属性で「誰もが参加できる体験型のワークショップ」、「子どもが参加できるような体験型ワークショップ」が高い傾向がみられた。



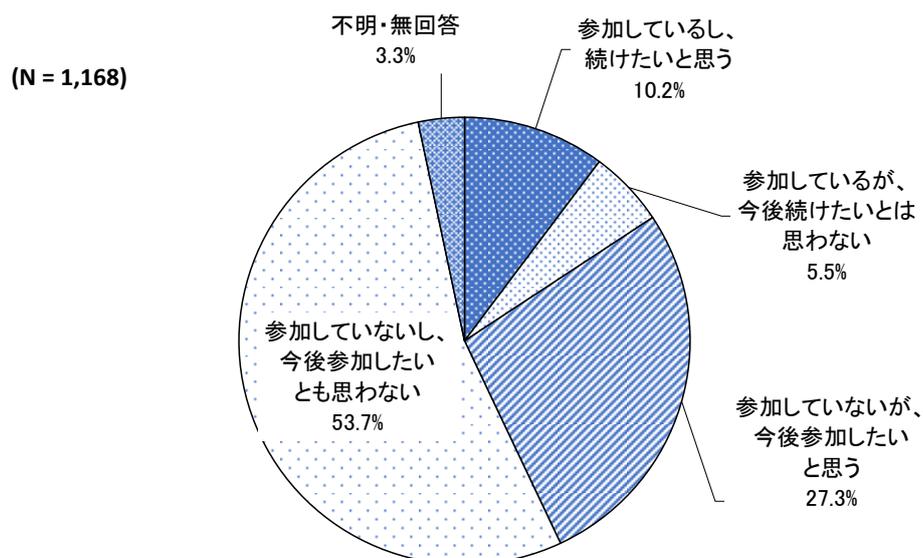
(23) 住んでいる地域の文化芸術活動の有無<単一回答> [問26]

住んでいる地域の文化芸術活動の有無についてみると、「ある」が58.1%と最も高く、次いで「あるかどうか知らない」が32.4%、「ない」が7.5%となっている。



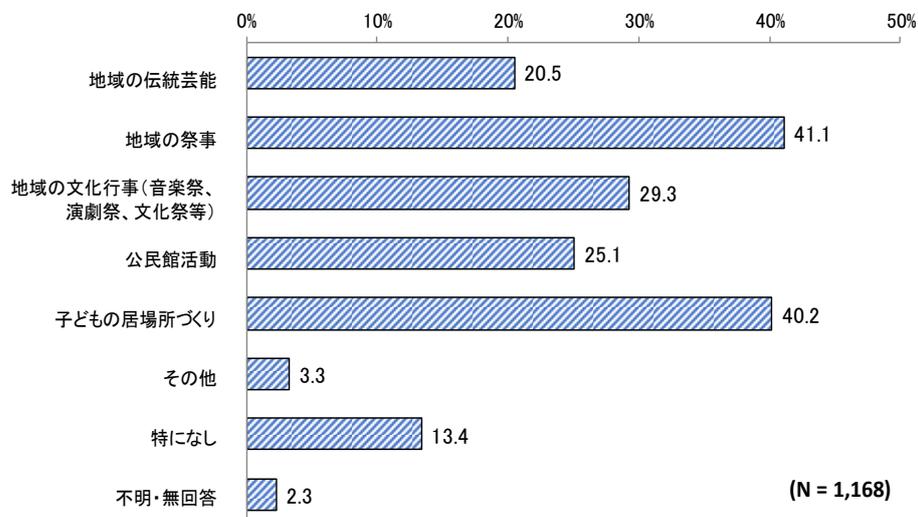
(24) 住んでいる地域で行われる文化芸術活動の担い手として参加している、または参加してみたいか <単一回答> [問27]

住んでいる地域で行われる文化芸術活動の担い手として参加している、または参加してみたいかについてみると、「参加していないし、今後参加したいとも思わない」が53.7%と最も高く、次いで「参加していないが、今後参加したいと思う」が27.3%、「参加しているし、続けたいと思う」が10.2%となっている。



(25) 「地域で行われている文化芸術活動」に必要なこと<複数回答> [問 28]

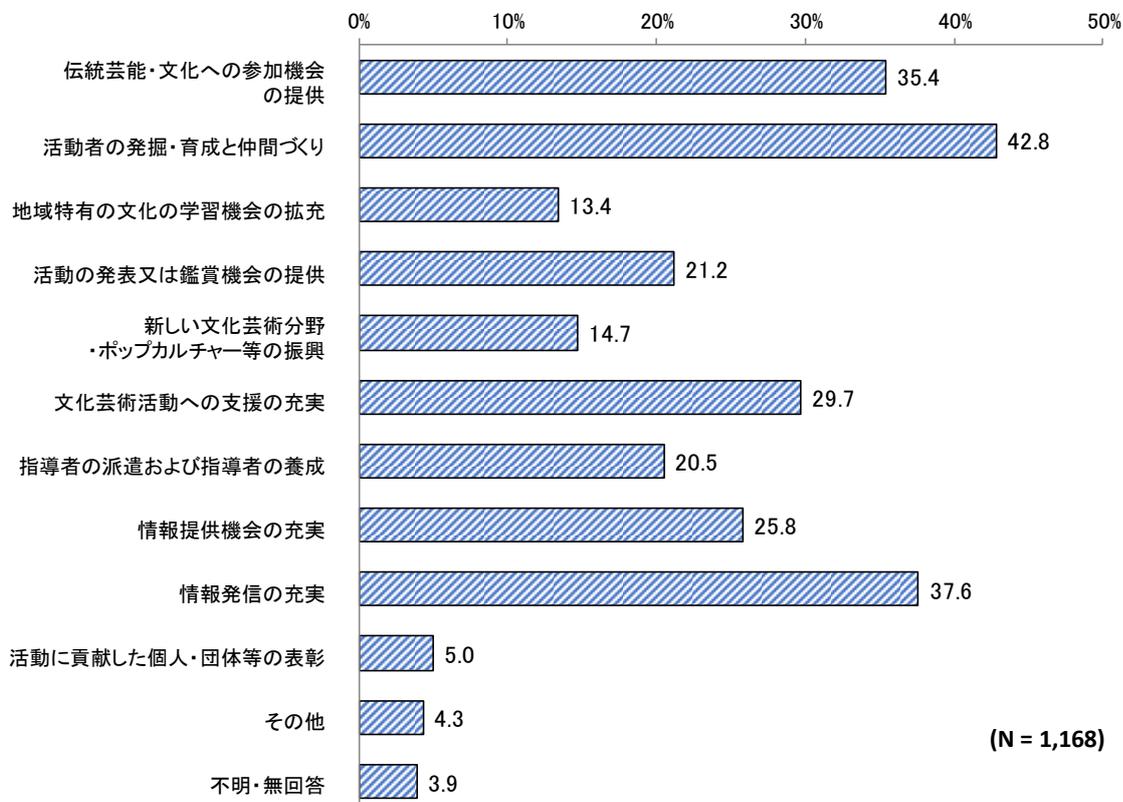
「地域で行われている文化芸術活動」に必要なことについてみると、「地域の祭事」が41.1%と最も高く、次いで「子どもの居場所づくり」が40.2%、「地域の文化行事（音楽祭、演劇祭、文化祭等）」が29.3%となっている。



(26) 地域で行われている文化芸術活動に積極的な参加者を増やすために必要なこと<複数回答>

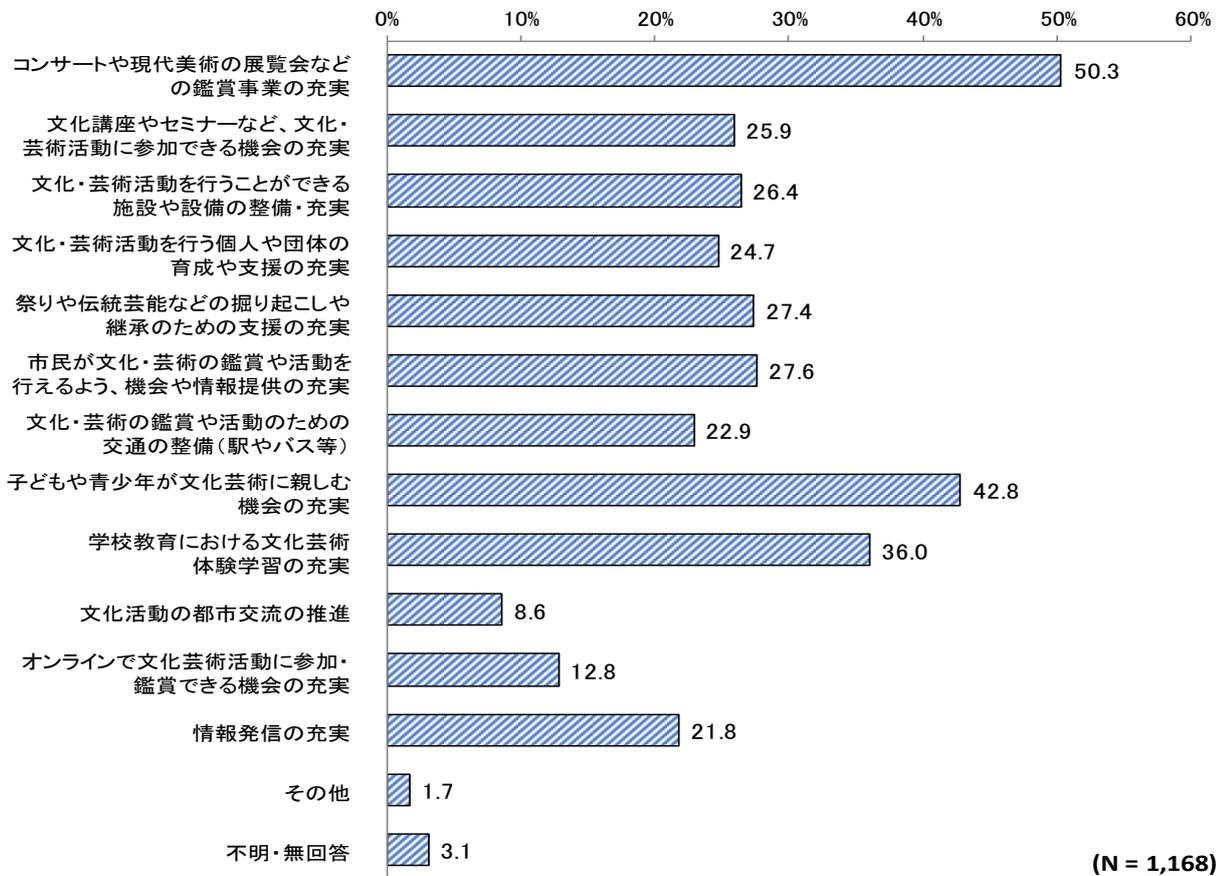
[問 29]

地域で行われている文化芸術活動に積極的な参加者を増やすために必要なことについてみると、「活動者の発掘・育成と仲間づくり」が42.8%と最も高く、次いで「情報発信の充実」が37.6%、「伝統芸能・文化への参加機会の提供」が35.4%となっている。



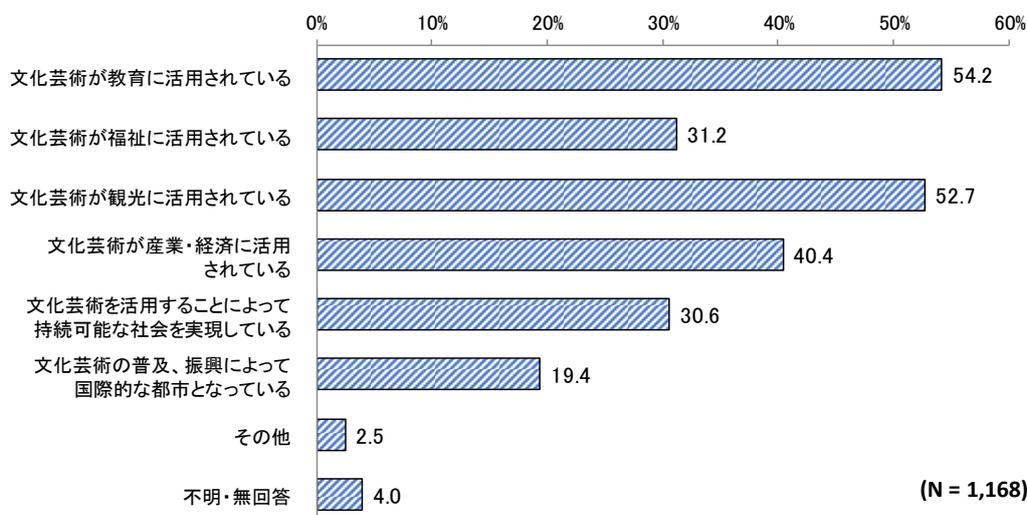
(27) 松山市の文化振興において、重要だと思うこと<複数回答> [問30]

松山市の文化振興において、重要だと思うことについてみると、「コンサートや現代美術の展覧会などの鑑賞事業の充実」が50.3%と最も高く、次いで「子どもや青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」が42.8%、「学校教育における文化芸術体験学習の充実」が36.0%となっている。



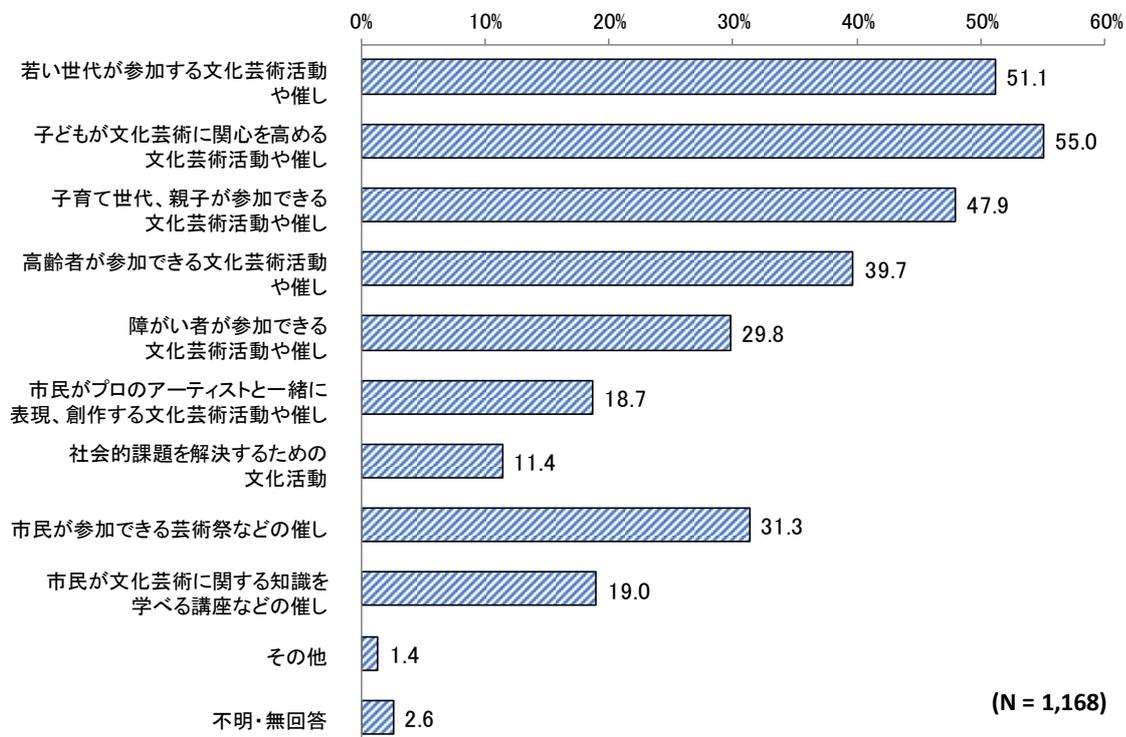
(28) 松山市は文化・芸術の面でどのような都市になってほしいか<複数回答> [問31]

松山市は文化・芸術の面でどのような都市になってほしいかについてみると、「文化芸術が教育に活用されている」が54.2%と最も高く、次いで「文化芸術が観光に活用されている」が52.7%、「文化芸術が産業・経済に活用されている」が40.4%となっている。



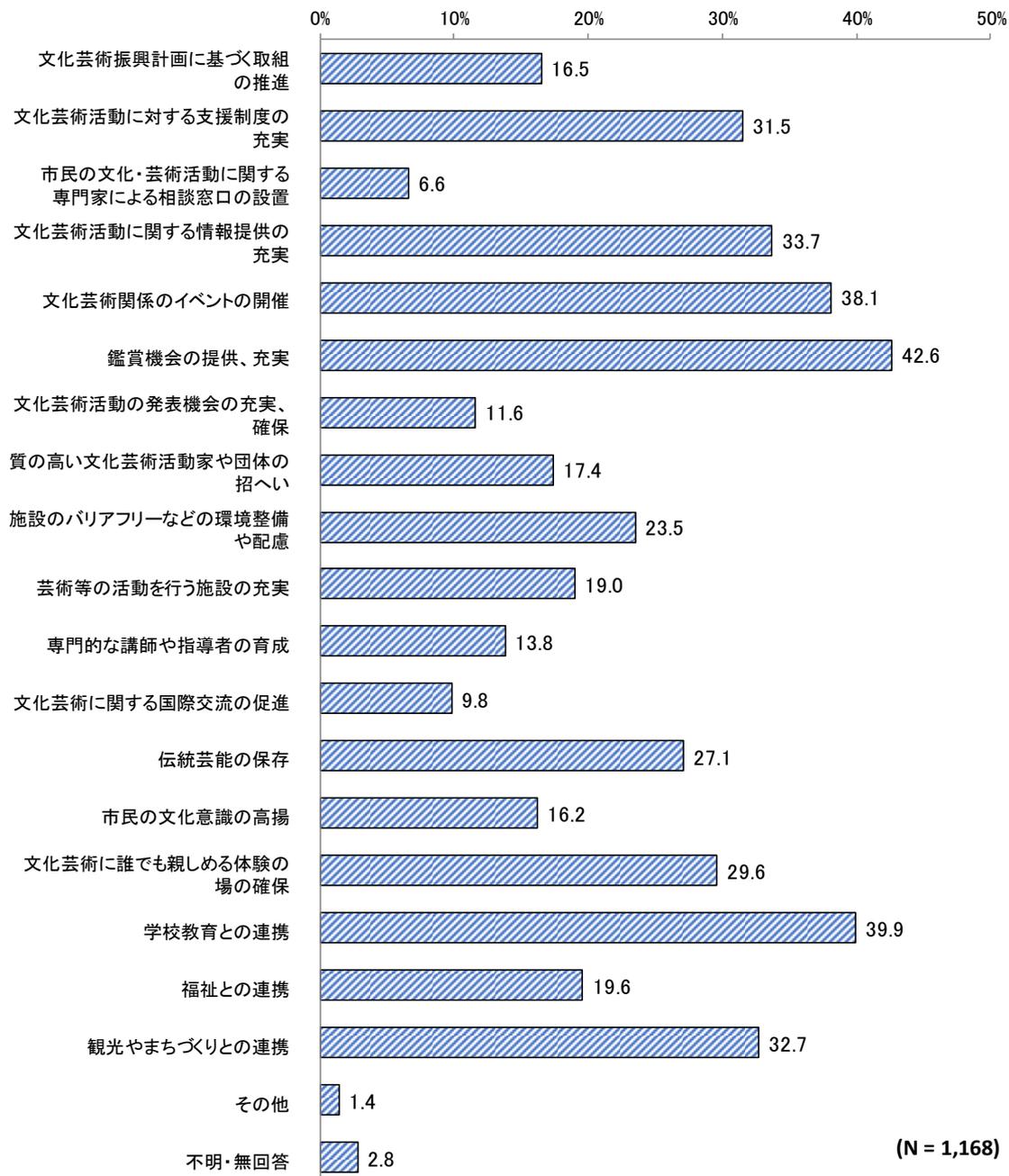
(29) 松山市で市民が参加できる文化芸術活動にはどのようなものが必要か<複数回答> [問 32]

松山市で市民が参加できる文化芸術活動にはどのようなものが必要かについてみると、「子どもが文化芸術に関心を高める文化芸術活動や催し」が55.0%と最も高く、次いで「若い世代が参加する文化芸術活動や催し」が51.1%、「子育て世代、親子が参加できる文化芸術活動や催し」が47.9%となっている。



(30) 文化振興のために、松山市は今後どのような施策に力を入れるべきか<複数回答> [問 33]

文化振興のために、松山市は今後どのような施策に力を入れるべきかについてみると、「鑑賞機会の提供、充実」が42.6%と最も高く、次いで「学校教育との連携」が39.9%、「文化芸術関係のイベントの開催」が38.1%となっている。



松山市 文化芸術に関する市民アンケート調査
結果報告書

概要版

発行年月：令和4年9月

発行：松山市

編集：松山市 坂の上の雲まちづくり部 文化・ことば課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2

T E L : 089-948-6952

F A X : 089-934-1913
